

令和3年度

定時総会議案

一般社団法人 諫早市薬剤師会

令和3年度

諫早市薬剤師会定時総会次第

日時：令和3年6月22日(火)

場所：一般社団法人 諫早市薬剤師会

1. 開会

2. 立会人及び議事録署名人選出

3. 議事(書面表決による決議)

第1号議案 令和2年度事業報告並びに各委員会等活動報告の件

第2号議案 令和2年度収支決算承認の件

第3号議案 役員改選の件

第4号議案 令和3年度入会金・会費の額及び徴収方法(案)の件

第5号議案 令和3年度事業計画(案)の件

第6号議案 令和3年度収支予算(案)の件

4. 閉会

(第1号議案)

令和2年度事業報告並びに
各委員会等活動報告の件

令和2年度 事業報告

{ 令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで }

いまだに終息の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症。諫早市でも感染拡大が懸念されている中で市民の健康に貢献できる活動に努めた。

今年度は2年に1度の調剤報酬改定が行われ、新たに特定薬剤管理指導加算2、吸入指導加算、調剤後薬剤管理指導加算など職能を生かせる点数の新設などがあつた。

新型コロナウイルス感染拡大のなか、容易に会議や研修会ができない状態が続いているが、新たな生活様式に沿った形の会議や研修会（WEBやハイブリッド研修会など）が行われた。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例的な取扱いとして「0410」通知などが発出され、諫早市タクシー協会との間で患者宅へ医薬品の配送を行うための協定を結んだ。

2月に行われる予定であつた三師会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となつた。しかし諫早医師会、諫早市歯科医師会との定期的な意見交換を行い、継続的に関係強化を図つた。

その他、長崎県薬剤師会の委員会へ委員を派遣し、近隣の地域薬剤師会及び行政と連携を図るなどして以下の事業を行った。

1. 質の高い医薬分業の推進定着

- (1) 面分業、処方箋応需体制の質の強化に努めた。
- (2) 薬歴管理、お薬手帳活用、服薬指導の徹底に努めた。
- (3) 調剤事故防止の徹底に努めた。
- (4) 三師会等関係団体との連携強化を図つた。
- (5) 薬薬連携等関係団体との連携強化を図つた。
- (6) 後発医薬品の使用促進に努めた。
- (7) おくすりネット長崎の活用促進に努めた。

2. 薬剤師会の組織活動の充実

- (1) 各委員会の活動を強化した。
- (2) 業務上起こる諸問題の対策検討に努めた。
- (3) 薬局のデッドストックの解消に努めた。
- (4) 6年制薬学生の実務実習の充実に努めた。

3. 在宅医療への参加推進

- (1) 薬剤師の在宅医療への推進と充実に努めた。
- (2) 在宅医療介護研修会へ積極的に参加した。
- (3) 認定審査会へ参加した。
- (4) 諫早市在宅ケアサークルの活動に協力した。
- (5) 「かけはしいさはや」の事業に協力した。

4. 薬剤師生涯研修の実施

生涯研修を長崎県病院薬剤師会と協力し、研修プログラムのもとでWEB等も活用して体系的に実施、自己研鑽を推奨した。

5. 保健・福祉活動への協力

- (1) 諫早市主催の「健康福祉まつり」ほか地域の各種イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため中止となったが、地域の保健・医療・福祉の供給体制に積極的に協力した。
- (2) 保健・福祉に関係する諸会合に積極的に参画した。
- (3) 「ダメ。ゼッタイ。」運動を含む薬物乱用防止活動に協力した。
- (4) 行政等の各種事業へ協力した。
- (5) 県央・県南地域結核コホート検討会に参画した。

6. 医薬品適正使用の推進

- (1) 地域の各種団体等で医薬品の適正使用、安全使用等に対する健康教育を実施し、住民の健康増進、薬剤師職能の啓発に努めるとともに、要指導医薬品・一般用医薬品販売において適正使用を推進した。
- (2) 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら出前講座を開催し、市民へ医薬品の適正使用とわかりつけ薬剤師・薬局の普及に努めた。
- (3) のんこの健康大学の運営に協力した（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）。
- (4) 長崎県央看護学校に講師を派遣した。

7. 学校薬剤師部会の充実

学校薬剤師部会の充実を図り、学校薬剤師の研修を行うとともに、学校衛生をはじめとする学校保健の向上推進に努めた。

8. 長崎県薬剤師会・地域薬剤師会との連携

- (1) 長崎県薬剤師会の方針に協力し、会務の推進を図るとともに、近隣の地域薬剤師会との協力を進めた。
- (2) 令和2年度 長崎県薬剤師学術大会「変化と進化」開催に協力した。

【 令和2年度行事 】
(令和2年4月～令和3年3月まで)

4月		
4月15日	令和元年度会計監査 (1回目)	諫早市薬剤師会会議室
4月23日	令和元年度会計監査 (2回目)	諫早市薬剤師会会議室
5月		
5月	地域医療支援病院運営委員会	JCHO諫早総合病院 中止
5月26日	国民健康事業の運営に関する協議会	諫早市役所 5F
5月31日	長崎県薬剤師会定時総会 (書面方式)	
6月		
6月	諫早市お口の健康フェスティバル	中央公民館 (市民センター) 中止
6月3日	臨時理事会	諫早市薬剤師会会議室
6月4日	新型コロナウイルス感染症対策	健康福祉センター
6月5日	第1回学校薬剤師部会委員会	諫早市薬剤師会会議室
6月6日	諫早市薬剤師会定時総会	グラントパレス諫早 中止 (書面方式)
6月20日	諫早市薬剤師会定時総会書面表決	諫早市薬剤師会会議室
6月24日	プール水検査	諫早市薬剤師会
6月25日	諫早市学校保健会総会	中止
7月		
7月1日	プール水検査	諫早市薬剤師会
7月15日	第1回定例理事会	諫早市薬剤師会会議室
8月		
8月20日	地域医療支援病院運営委員会	JCHO諫早総合病院 中止
8月21日	諫早学術研修会	小野ふれあい会館
9月		
9月7日	空気検査等開始 ~10/1まで	諫早市薬剤師会学校薬剤師部会
9月9日	諫早学術研修会	小野ふれあい会館
9月13日	社会保険講習会	小野ふれあい会館
9月16日	第2回定例理事会	諫早市薬剤師会会議室
9月	県央区域地域医療構想調整会議	県央保健所 書面による会議
10月		
10月14日	諫早認知症疾患検討会	JCHO諫早総合病院
10月15日	諫早市認知症対策推進会議	諫早市役所 5F
10月16日	第1回諫早市健康福祉審議会	諫早市高城会館1F
10月19日	諫早市在宅ケアサークル例会	WEB
11月		
11月18日	第3回定例理事会	諫早市薬剤師会会議室
11月19日	諫早市学校保健会第2回理事会	諫早市役所 8F
11月24日	飲料水検査	諫早市薬剤師会
11月26日	地域医療支援病院運営委員会	JCHO諫早総合病院
11月27日	第1回学校薬剤師部会委員会	諫早市薬剤師会会議室
12月		
12月1日	飲料水検査	諫早市薬剤師会
12月9日	諫早オンライン学術研修会	WEB配信 (配信場所: ホテルフラッグス諫早)
12月11日	研修シラバス研修会	小野ふれあい会館 (サテライト)
12月16日	職場の健康づくり応援事業	(株)新長崎製作所
12月17日	令和2年度県央地域結核コホート検討会	県央保健所 (TV会議) 配信不調のため延期
12月23日	県央保健所新型インフルエンザ等地域対策協議会	県央保健所 (TV会議)
1月		
1月12日	空気検査等開始 ~2/3まで	諫早市薬剤師会学校薬剤師部会
1月13日	第4回定例理事会	諫早市薬剤師会会議室 (WEB配信併用)
1月15日	第2回諫早市健康福祉審議会	諫早市役所
1月15日	第2回学校薬剤師部会委員会	諫早市薬剤師会会議室 中止
2月		
2月4日	令和2年度県央地域結核コホート検討会	県央保健所 (WEB)
2月17日	諫早オンライン学術研修会	WEB配信 (配信場所: 諫早市薬剤師会)
2月24日	臨時理事会	諫早市薬剤師会会議室
2月中旬	地域医療支援病院運営委員会・地域協議会	諫早総合病院 延期
2月中旬	諫早市三師会役員協議会	中止
2月	県央区域地域医療構想調整会議	県央保健所 書面による会議
3月		
3月10日	諫早オンライン学術研修会	WEB配信 (配信場所: 諫早市薬剤師会)
3月24日	諫早オンライン学術研修会	WEB配信 (配信場所: ホテルフラッグス諫早)
3月下旬	第2回諫早市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期

【 各委員会等活動報告 】

《地域保健委員会》 担当： 木下 円子

- ・ 深夜早朝医薬品供給ネットワーク事業へのご協力ありがとうございます。
本事業は 令和2年5月15日をもちまして終了いたしました。
長い間 ご協力いただき、ありがとうございました。
- ・ 健康サポート薬局事業推進として
「健康サポートのための多職種連携研修（研修会A）」と
「健康サポートのための薬剤師の対応研修（研修会B）」を実施しました。
ご参加ありがとうございました。

《生涯学習委員会》 担当： 八木 ひとみ

- ・ 長崎県薬剤師会生涯学習委員会へ出席しました。
- ・ 第2回長崎県薬剤師学術大会のWGへ参加し、長崎ブリックホール国際会議場にて令和3年3月7日に開催されました。
- ・ 県薬特別委員会主催の講習会へ協力しました。
- ・ 諫早市薬剤師会学術研修会を開催しました。
- ・ 本年度よりオンラインによる研修会を開始しました。
会員の皆様のご協力により、感染症対策を行いながらオンラインでの研修会の開催もできている現状です。誠に御礼申し上げます。

《医薬分業対策委員会》 担当： 藤原 晶子

- ・ 令和2年11月1日に医療安全対策研修会を開催しました。各薬局1名限定で、会場が密にならない状態での開催でした。
- ・ 多量服薬者訪問相談事業を今年度も実施予定でしたが、コロナ禍での患者宅訪問等を安全に実施する事が難しいと判断し、実施を見送りました。

《社会保険委員会》 担当： 吉田 忠弘

- ・ 長崎県薬剤師会社会保険委員会に1回出席しました。
- ・ 令和2年9月13日小野ふれあい会館の多目的ホールにて県央地区社会保険講習会を開催し、薬剤師、その他の職員へ保険調剤業務が適正に行われるように知識の習得及び確認に努めました。

《出前講座委員会》 担当： 工藤 学

- ・ 「かかりつけ薬剤師・薬局」の啓蒙、普及を図るため会員から講師を募り、いきいきサロンや子育てサークルなどで、30分程度の時間を借りて令和2年度は3回の出前講座（4件の依頼。1件はコロナのため中止。）を開催しました。
- ・ 本年度も引き続きコロナ感染防止に努めながら市民へ広く宣伝活動を行い、薬剤師の職能アピールの一助となる活動を行いたいと思っております。

《在宅医療委員会》 担当： 宮崎 彰宣

- ・ 長崎県薬剤師会在宅医療委員会に2回出席しました。
- ・ 県薬主催の講習会へ協力しました。
- ・ 介護支援専門委員連絡協議会へ協力しました。

《学校薬剤師部会》 担当： 工藤 学

- ・ 長崎県薬剤師会学校薬剤師部会委員会に2回出席しました。
- ・ 学校薬剤師部会の充実を図り、学校薬剤師活動の支援を行い、学校保健の向上に務めました。

《実務実習委員会》 担当： 河野 吉彦

- ・ 長崎県薬剤師会実務実習委員会に1回出席しました。
- ・ 令和3年の実務実習受け入れを調整しました。
第1期（2月～5月）1名 第2期（5月～8月）3名
長崎国際大学より2名、福岡大学・崇城大学より各1名ずつ受け入れました。

令和2年度 学術研修事業実施一覧表

(平成2年4月～令和3年3月)

月日	演題・テーマ	講師所属及び氏名	単位	会場・受講員数	主催
8/21	「睡眠の原理と睡眠障害の治療 ～オレキシン受容体拮抗薬 ・レンボレキサントの特徴～」	道ノ尾病院 副院長 芹田 巧先生	1	小野ふれあい会館 40名	諫早
9/9	「栄養補助食品について ～薬局様と患者様の 会話のきっかけに～」	株式会社 クリニコ 長崎営業所 馬場 郁香 先生	1	小野ふれあい会館 44名	諫早
12/9	「インフルエンザの診断と治療戦略 ～COVID-19との 鑑別も含めて～」	長崎大学大学院医歯薬学 総合研究科 病態解析・診断学分野 教 授 柳原 克紀 先生	1	WEB配信 43名(シール発行37名)	諫早
2/17	「改正薬機法について」	長崎県県央保健所 衛生課 食品薬務班 係長 池田 由紀 先生	1	WEB配信 46名(シール発行38名)	諫早
3/10	「麻薬等の取り扱いについて」	長崎県県央保健所 衛生課 食品薬務班 主任技師 田川 康平 先生	1	WEB配信 51名(シール発行35名)	諫早
3/24	「JSH2019と当院における 高血圧治療の実際」	満岡内科・循環器科 院長 満岡 渉 先生	1	WEB配信 35名(シール発行27名)	諫早
病院薬剤師会主催 0回 諫早市薬剤師会主催: 6回				病薬主催: 0名 諫早主催: 259名	

※4月から7月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できませんでした。

【 学校薬剤師部会 事業実施状況 】

令和2年度

〔会員：49名・担当学校：66校〕

(小学校：28校・中学校：16校・高等学校：9校・幼稚園：10園(認定こども園：7園)・特別支援学校：3校)

1.学校薬剤師部会の関係会議

- ① 4月15・23日：諫早市薬剤師会・学校薬剤師部会 会計監査
- ② 6月5日：第1回諫早市薬剤師会学校薬剤師部会 委員会
- ③ 11月27日：第2回諫早市薬剤師会学校薬剤師部会 委員会

2.長崎県薬剤師会学校薬剤師部会の関係会議

- ① 10月26日：県薬 第1回学校薬剤師部会 委員会 (WEB)
- ② 12月21日：県薬 第2回学校薬剤師部会 委員会 (WEB)
- ③ 3月27日：県薬 学校薬剤師研修会 (WEB)

3.諫早市学校保健会関係会議

- ① 5月28日：諫早市学校保健会 第1回理事会 (中止)
- ② 6月25日：諫早市学校保健会 総会 (中止)
- ③ 11月19日：諫早市学校保健会 第2回理事会
- ④ 2月4日：諫早市学校保健会 研究協議大会 (中止)

4.薬物乱用防止活動

- ① 7月6日：「ダメ。ゼッタイ。」普及運動キャンペーン (中止)
- ② 10月4日：長崎県薬物乱用防止教室指導者講習会

5.全国学校保健調査

- ① 調査時期：令和2年9月集計(長崎県学校薬剤師部会経由、日本薬剤師会報告)
- ② 調査対象：小学校28校・中学校16校・高等学校9校・幼稚園・こども園10園・特別支援学校3校 合計66校
- ③ 調査項目：二酸化炭素・一酸化炭素・浮遊粉塵について

6.学校プール定期検査(学校のプール使用状況により2回に分けて実施)

- ① 検査時期：令和2年6月下旬～7月上旬
- ② 検査対象：小学校28校・中学校11校・幼稚園3園・高等学校1校・総検体数84検体
- ③ 検査項目：現場検査9項目、検査室試験6項目
- ④ 検査結果：大腸菌が1校1プールで検出、学校薬剤師と幼稚園で速やかに対応された一般細菌が幼稚園2校2プールで検出、そのほかは全て検出なし
遊離残留塩素基準不適合が小学校2校3プール、中学校1校2プール、幼稚園2園3プール
適正管理の徹底をお願いしたい

7.教室等化学物質検査

- ① 検査時期：令和2年8月
- ② 検査対象：小学校16校25室・中学校5校5室 合計21校30室
- ③ 検査項目：ホルムアルデヒド
- ④ 検査結果：小学校25室のうち20室 中学校5室のうち4室が基準不適

8.保健室等ダニ検査

- ① 検査時期：令和2年8月
- ② 検査対象：小学校28校・中学校14校・幼稚園2校 合計44校
- ③ 検査結果：163検体検査、除去が必要なレベル(++)のもの24検体

9.学校飲料水検査

- ① 検査時期：令和2年11月下旬～12月初旬
- ② 検査対象：小学校28校・中学校14校・幼稚園・こども園10園・高等学校1校 総検体数53検体
- ③ 検査項目：現場検査5項目、検査室試験7項目
- ④ 検査結果：水質基準が定められている9項目については全ての検体で基準に適合した。しかし遊離残留塩素は2校で不適合。

10.教室空気調査

- ① 調査時期：令和2年1月中旬～令和2年2月中旬
- ② 調査対象：小学校28校・中学校16校・高等学校9校・幼稚園・こども園10園・特別支援学校3校 合計66校
- ③ 調査項目：二酸化炭素
- ④ 検査結果：基準を超過する傾向は高学年になるほど多くなる。換気に努める必要がある。
また、教室にエアコンが設置されたことにより一層換気に配慮する必要がある。
：新型コロナ感染症対策の対策として十分な換気がなされており、例年より低い測定値である。

11.教室照度検査

- ① 検査時期：令和2年1月中旬～令和2年2月
- ② 検査状況：担当学校66校中60校(91%)で実施

12.事業概要配布：諫早市教育委員会・各学校・部会員 -8-

(第2号議案)

令和2年度収支決算承認の件

令和2年度 収支計算書

〔 令和 2年4月 1日から
令和 3年3月31日まで 〕

収入の部

項 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	9,600,000	9,796,000	△ 196,000	下記の明細(1)(2)の通り
入会金	550,000	570,000	△ 20,000	下記の明細(3)の通り
FAX応需料	8,000,000	6,810,615	1,189,385	諫早総合病院・日赤諫早病院
家賃	1,560,000	1,560,000	0	
預金利息	2,000	1,549	451	十八親和銀行・たちばな信用金庫
県薬（分業推進活動費）	2,220,000	2,220,000	0	
県薬（講習会助成金）	0	0	0	
検査手数料	950,000	926,475	23,525	
雑収入	200,000	939,450	△ 739,450	業務日誌・薬歴簿・マスク等
収入計	23,082,000	22,824,089	257,911	

(1) 諫早市薬剤師会 会費	A会員	94,500円	× 72名	6,804,000円
	B会員	30,200円	× 78名	2,355,600円
	A会員（遅延分）	94,500円	× 1名	94,500円
	B会員（途中入会）	30,200円	× 3名	90,600円
	B会員（市・途中入会）	12,200円	× 1名	12,200円
	A会員（半期分）	47,250円	× 1名	47,250円
	A会員（市・半期分）	22,250円	× 1名	22,250円
	合計			157名

(2) 諫早市薬剤師会 学校薬剤師部会部会費	会員	6,400円	× 39名	249,600円
	非会員	12,000円	× 10名	120,000円
合計			49名	369,600円
計				<u>9,796,000円</u>

(3) 諫早市薬剤師会 入会金	A会員	70,000円	× 2名	140,000円
	A会員(市)	50,000円	× 1名	50,000円
	B会員	40,000円	× 9名	360,000円
	B会員(市)	20,000円	× 1名	20,000円
	合計			13名

支出の部

項 目	予算額	決算額	差異	備考
役員報酬	850,000	878,820	△ 28,820	
給与	6,600,000	6,782,706	△ 182,706	
福利厚生費	200,000	171,661	28,339	
交際費	200,000	43,100	156,900	渉外費・慶弔費
旅費交通費	700,000	603,240	96,760	
通信費	1,200,000	1,083,837	116,163	
備品消耗品費	250,000	1,237,925	△ 987,925	販売用マスク代含む
事務用消耗品費	100,000	58,351	41,649	
修繕費	100,000	92,400	7,600	
印刷製本費	0	37,950	△ 37,950	
水道光熱費	240,000	234,323	5,677	
支払家賃	2,600,000	2,558,665	41,335	
顧問料	1,000,000	1,060,820	△ 60,820	
租税公課	450,000	436,500	13,500	
支払負担金	5,500,000	5,527,400	△ 27,400	日薬・県薬会費、学業負担金、
寄付金	0	0	0	
会議費・講習会費	700,000	360,295	339,705	
健康福祉活動費	100,000	0	100,000	
教育研修費	100,000	59,660	40,340	
リース料	180,000	172,368	7,632	北'-機リ-入料
学会等参加・研修費	100,000	0	100,000	
検査手数料	750,000	823,273	△ 73,273	
カウント料	220,000	198,111	21,889	
器機保守料	0	0	0	
システム管理費	600,000	446,382	153,618	
雑費	100,000	157,241	△ 57,241	
予備費	242,000	934,808	△ 692,808	貯蔵品、リース資産未払金、法人税等
支出計	23,082,000	23,959,836	△ 877,836	

前期繰越収支差額	12,271,811	12,271,811		
当期収支差額	0	△ 1,135,747	1,135,747	
次期繰越収支差額	12,271,811	11,136,064	1,135,747	

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	570,000	710,000	△ 140,000
受取会費			
正会員受取会費	9,796,000	9,776,900	19,100
事業収益			
FAX応需料	6,810,615	8,221,730	△ 1,411,115
家賃収入	1,560,000	1,560,000	0
分業推進活動費収入	2,220,000	2,220,000	0
検査手数料収入	926,475	914,559	11,916
事業収益計	11,517,090	12,916,289	△ 1,399,199
雑収益			
受取利息	1,549	1,958	△ 409
雑収益	939,450	148,750	790,700
雑収益計	940,999	150,708	790,291
経常収益計	22,824,089	23,553,897	△ 729,808
(2) 経常費用			
管理費			
役員報酬	878,820	938,470	△ 59,650
給与	6,782,706	6,759,087	23,619
福利厚生費	171,661	241,235	△ 69,574
交際費	43,100	162,420	△ 119,320
旅費交通費	603,240	644,244	△ 41,004
通信費	1,083,837	1,121,096	△ 37,259
減価償却費	1,094,024	926,009	168,015
備品消耗品費	1,237,925	319,361	918,564
事務用消耗品費	58,351	65,810	△ 7,459
修繕費	92,400	45,160	47,240
印刷製本費	37,950	0	37,950
水道光熱費	234,323	238,111	△ 3,788
支払家賃	2,558,665	2,609,155	△ 50,490
顧問料	1,060,820	1,058,183	2,637
租税公課	436,500	461,715	△ 25,215
支払負担金	5,527,400	5,541,400	△ 14,000
支払寄付金	0	50,000	△ 50,000
会議費・講習会費	360,295	657,661	△ 297,366
健康福祉活動費	0	79,462	△ 79,462
教育研修費	59,660	120,491	△ 60,831
リース料	172,368	172,368	0
検査手数料	823,273	760,284	62,989
カウント料	198,111	239,153	△ 41,042
システム管理費	446,382	562,481	△ 116,099
雑費	157,241	76,302	80,939
管理費計	24,119,052	23,849,658	269,394
経常費用計	24,119,052	23,849,658	269,394
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,294,963	△ 295,761	△ 999,202
当期経常増減額	△ 1,294,963	△ 295,761	△ 999,202
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,294,963	△ 295,761	△ 999,202
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,365,963	△ 366,761	△ 999,202
一般正味財産期首残高	17,388,844	17,755,605	△ 366,761
一般正味財産期末残高	16,022,881	17,388,844	△ 1,365,963
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,022,881	17,388,844	△ 1,365,963

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,812,598	16,366,738	△ 554,140
未収金	373,545	945,215	△ 571,670
未収還付法人税等	231	298	△ 67
貯蔵品	453,175	353,776	99,399
前払費用	48,805	0	48,805
流動資産合計	16,688,354	17,666,027	△ 977,673
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	727,014	1,056,398	△ 329,384
リース資産	2,039,040	2,803,680	△ 764,640
その他固定資産合計	2,766,054	3,860,078	△ 1,094,024
固定資産合計	2,766,054	3,860,078	△ 1,094,024
資産合計	19,454,408	21,526,105	△ 2,071,697
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,928,705	3,591,847	△ 663,142
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	430,500	440,900	△ 10,400
預り金	1,322	33,514	△ 32,192
流動負債合計	3,431,527	4,137,261	△ 705,734
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,431,527	4,137,261	△ 705,734
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	16,022,881	17,388,844	△ 1,365,963
正味財産合計	16,022,881	17,388,844	△ 1,365,963
負債及び正味財産合計	19,454,408	21,526,105	△ 2,071,697

令和2年度 会計監査 報告書

一般社団法人 諫早市薬剤師会の令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)収支決算書等の各事項について監査を行った結果を次のとおり報告します。



1. 監査年月日 令和3年4月22日
2. 令和2年度 会計決算書及び会計帳簿等
3. 預金通帳及び証拠書類等

監査の結果

上記資料について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類等は整備され、収支共に適切に処理されている事を認めます。

令和 3年 4月 22日

一般社団法人 諫早市薬剤師会

監事 和田 稔 
監事 岡本 孝 

一般社団法人 諫早市薬剤師会

会長 堀 剛 殿

(第3号議案)

役員改選の件

別添の改選（案）をご覧ください。

(第4号議案)

令和3年度入会金・会費の額
及び徴収方法(案)の件

令和3年度 入会金・会費の額及び徴収方法(案)

1. 入会金

(単位:円)

	諫早市薬剤師会徴収額	内 訳		
		諫早市薬剤師会	長崎県薬剤師会	日本薬剤師会
A会員	70,000	50,000	20,000	—
B会員	40,000	20,000	20,000	—

2. 一般会費

(1) 会費の額(年額)

(単位:円)

	諫早市薬剤師会徴収額	内 訳		
		諫早市薬剤師会	長崎県薬剤師会	日本薬剤師会
A会員	94,500	44,500	32,000	18,000
B会員	30,200	12,200	11,000	7,000

(2) 会費の徴収方法

区 分	納 期
A会員	7月30日(金)
B会員	

3. 学校薬剤師部会費

(1) 会費の額(年額)

(単位:円)

	諫早市薬剤師会徴収額	内 訳		
		諫早市薬剤師会	長崎県薬剤師会	日本薬剤師会
部会費	6,400	2,400	4,000	—

(2) 会費の徴収方法

納 期	7月30日(金)

(第5号議案)

令和3年度事業計画(案)の件

令和3年度 事業計画（案）

{ 令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで }

新型コロナウイルス感染症は瞬く間に拡大し、日本においても感染は各地に広がった。諫早市及び関係団体と協力し感染拡大防止に努めていく。そのような状況下においても薬剤師は対物中心の業務から対人中心の業務への転換を進め、薬局は医薬品の供給そして地域住民・患者への情報提供や安心して相談ができる拠点としての機能強化を進めていかなければならない。患者のための薬局ビジョンの中で我々薬剤師に対して地域住民から処方箋に基づいた調剤にとどまらず、薬物治療への貢献、患者の個別性を考慮した対人業務、調剤後フォローアップ等はどう関わっていくかが求められている。

地域における様々な多職種連携をはじめ、在宅医療への積極的な参画、介護・認知症の初期相談、飲み忘れや飲み残しを防止する残薬解消への取り組み、「かかりつけ薬剤師・薬局」機能の推進強化に取り組んでいく。将来的には病診薬連携の重要なツールとなる調剤情報共有システム「おくすりネット長崎」の活用に向けて取り組む。

また、市民に向けたお薬相談や出前講座を新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら継続して実施していく。学校薬剤師活動においては、幼稚園への学校薬剤師配置に協力していく。学校環境衛生活動のみならず、薬物乱用防止活動への積極的な参画、くすり教育への協力を組織的に推進していく。

以上を基本とし、本年度は諸課題に対応すると共に、組織の強化を図り、市民の健康な生活の確保・向上に寄与する事を目的に、以下に掲げた事業に取り組む。

1. 質の高い医薬分業の推進定着

- (1) 面分業、処方箋応需体制の質を強化する。
- (2) 薬歴管理、お薬手帳活用、服薬指導の徹底を図る。
- (3) 調剤事故防止の徹底に努める。
- (4) 三師会等関係団体との連携強化を図る。
- (5) 三師会連携協議会を通じて連携強化を図る。
- (6) 薬薬連携等関係団体との連携を強化する。
- (7) 後発医薬品の使用促進に取り組む。
- (8) おくすりネット長崎の活用推進に努める。

2. 薬剤師会の組織活動の充実

- (1) 各委員会の活動強化に取り組む。
- (2) 業務上起こる諸問題の対策検討に努める。

- (3) インターネットを活用した薬局のデッドストック解消に取り組む。
- (4) 6年制薬学生の実務実習に協力する。

3. 在宅医療への参加推進

- (1) 薬剤師の在宅医療への推進と充実に努める。
- (2) 在宅医療介護研修会へ積極的に参画する。
- (3) 認定審査会へ参加する。
- (4) 諫早市在宅ケアサークルの活動に参加する。
- (5) 「かけはしいさはや」の事業に協力する。

4. 薬剤師生涯研修の実施

生涯研修を長崎県病院薬剤師会と協力し、研修プログラムのもとで体系的に実施、自己研鑽を推奨する。

5. 保健・福祉活動への協力

- (1) 諫早市主催の「健康福祉まつり」ほか地域の各種イベントに参画し、地域の保健・医療・福祉の供給体制に積極的に参加し協力する。
- (2) 保健・福祉に関係する諸会合に積極的に参画する。
- (3) 「ダメ。ゼッタイ。」運動に協力する。
- (4) 行政等の各種事業へ協力する。

6. 医薬品適正使用の推進

- (1) 地域の各種団体等で医薬品の適正使用、安全使用等に対する健康教育を実施し、住民の健康増進、薬剤師職能の啓発に努めるとともに、要指導医薬品・一般用医薬品販売において適正使用を推進する。
- (2) 出前講座を開催し、市民へ医薬品の適正使用とかかりつけ薬剤師・薬局の普及に努める。
- (3) 長崎県央看護学校に講師を派遣する。

7. 学校薬剤師部会活動の促進

学校薬剤師部会の充実に努め、学校薬剤師の研修を行うとともに、学校衛生をはじめとする学校保健の向上推進に努める。

8. 長崎県薬剤師会・地域薬剤師会との連携

長崎県薬剤師会の方針に協力し、会務の推進を図るとともに、近隣の地域薬剤師会との協力を進める。

(第6号議案)

令和3年度収支予算(案)の件

令和3年度 収支予算（案）

〔 令和 3年4月 1日から
令和 4年3月31日まで 〕

収入の部

（単位：円）

項目	予算案	前年度予算額	増減	備考
会 費	9,700,000	9,600,000	100,000	下記の明細(1)(2)の通り
入会金	550,000	550,000	0	下記の明細(3)の通り
FAX応需料	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000	諫早総合病院・日赤諫早病院
家賃	1,560,000	1,560,000	0	
預金利息	2,000	2,000	0	親和銀行・十八銀行・ たちばな信用金庫
県薬（分業推進活動費）	2,085,000	2,220,000	△ 135,000	
県薬（講習会助成金）			0	
検査手数料	950,000	950,000	0	
雑収入	200,000	200,000	0	お薬手帳・薬歴簿・業務日誌・ FAX]ナカド 代等
収入計	22,047,000	23,082,000	△ 1,035,000	

諫早市薬剤師会 会費

(1) 会費	A会員	94,500円	× 73名 =	6,898,500円
	B会員	30,200円	× 80名 =	2,416,000円
	合計		153名	9,314,500円

諫早市薬剤師会 学校薬剤師会部会費

(2) 部会費	会員	6,400円	× 39名 =	249,600円
	非会員	12,000円	× 10名 =	120,000円
	合計		49名	369,600円
	計			<u>9,684,100円</u>

諫早市薬剤師会入会金

(3) 入会金	A会員	70,000円	× 5人 =	35,000円
	B会員	40,000円	× 5人 =	200,000円
	合計		10人	550,000円

支出の部

(単位：円)

項目	予算案	前年度予算額	増減	備考
役員報酬	850,000	850,000	0	
給与	6,500,000	6,600,000	△ 100,000	
福利厚生費	200,000	200,000	0	
交際費	100,000	200,000	△ 100,000	渉外費・慶弔費
旅費交通費	600,000	700,000	△ 100,000	
通信費	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	
備品消耗品費	200,000	250,000	△ 50,000	
事務用消耗品費	50,000	100,000	△ 50,000	
修繕費	50,000	100,000	△ 50,000	
水道光熱費	250,000	240,000	10,000	
支払家賃	2,600,000	2,600,000	0	
顧問料	1,050,000	1,000,000	50,000	
租税公課	450,000	450,000	0	
支払負担金	5,500,000	5,500,000	0	日薬・県薬会費、学業負担金
寄付金	0	0	0	
会議費・講習会費	500,000	700,000	△ 200,000	委員会・出前講座等
健康福祉活動費	50,000	100,000	△ 50,000	
教育研修費	50,000	100,000	△ 50,000	
リース料	180,000	180,000	0	コピー機リース料
学会等参加・研修費	0	100,000	△ 100,000	九山大会参加補助
検査手数料	800,000	750,000	50,000	
カウント料	200,000	220,000	△ 20,000	
システム管理費	500,000	600,000	△ 100,000	FAXコーナー
雑費	100,000	100,000	0	
予備費	167,000	242,000	△ 75,000	
支出計	22,047,000	23,082,000	△ 1,035,000	
前期繰越収支差額		13,407,558		
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	13,407,558	0	